

議 事 録	
会 議 名	令和 7 年第 3 回一宮警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和 7 年 8 月 26 日（火）午後 2 時から午後 4 時までの間 一宮警察署 講堂
出 席 者	1 委員 12 名（定数 15 名） 西尾 欣孝会長      鈴木 直之委員   杉山 弘幸委員 西田 りか委員      嵯峨 裕英委員   衣 飛委員 鵜飼 保子委員      大重 宏司委員   今西 智恵子委員 松下 明子委員      木村 エリンダ委員 ヤング アリス シンヤオ委員
	2 警察署員 8 名 岡署長                      桑原副署長                      井上警務課長 伊藤会計課長              鈴木生活安全課長              安田地域課長 櫻井交通課長              前田警備課長
	3 有識者等 なし
1 署長挨拶 2 報告内容 (1) 管内の治安情勢 (2) 前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況 ア 前回の協議事項 交差点における交通事故抑止対策 イ 前回の意見・要望 ・ ドライブレコーダー映像を活用した交通安全教育を促進してほしい。 ・ 交差点におけるハード的な交通安全対策を促進してほしい。 ・ 交通事故の多い交差点の情報提供を促進してほしい。 ウ 推進施策 ・ 管内企業、地域会合の場においてドライブレコーダーを活用した交通安全教室を開催した。 ・ 交差点を選定して、道路標示を見やすい塗装へ変更した。 ・ 一灯点滅式信号機から一時停止規制への切り替えを図った。 ・ 出合頭事故の多発マップを作成し、関係団体等に情報提供する等して多くの市民への情報提供を図った。	
3 協議事項	

大規模自然災害発生時に警察力を発揮するために

4 発言の要旨

- ・ 災害発生時のことを考えて、日頃から住民同士で地域での対応の話をするのが大切だと思う。
- ・ 住民やその他の行政機関と連携した防災教育や外国人、身体障害者への情報発信を含めた総合的な対策をしてほしい。
- ・ 日本は災害が多く、小さい頃から避難訓練等をしている日本人は災害発生時に対応できると思うが、成人になってから日本に来た外国人等は災害に慣れていないので、災害が発生するとパニックになりやすいため、外国人にも情報が伝わるように広報してほしい。
- ・ 交番は情報集約しやすいと思うので、拠点となって自治体や警察署と連携を図って情報収集して情報発信してほしい。
- ・ 地域の安全や発災後のケアは警察の得意な分野だと思うので、そこを重点に対応してほしい。
- ・ 停電時の交通整理、避難後の防犯対策をしてほしい。
- ・ 震災時は自助、共助、公助が必要となるが、自助の必要性についてもっと情報発信したほうが良い。
- ・ 車両のガラス割り体験を経験し、災害を想定した訓練や資器材の点検を含めた事前準備が重要だと感じたのでそれを推進してほしい。
- ・ 輸送路の確保と住民が利用できる道路の情報は重要であるので、そうした情報をインターネット等に提供してほしい。
- ・ インターネット上には嘘の情報もあるので、アプリ「アイチポリス」を経由する等して情報発信すると良いのではないか。
- ・ インターネットが使えない際は、警察署や交番で情報集約してほしい。
- ・ 住民にしてほしいこと、してほしくないことの情報も発信してほしい。
- ・ 地域で行う防災訓練の際には、警察も参加して資器材等の説明をしてほしい。
- ・ 外国人は災害が起きると思っておらず発生時に取り残されやすいので、実際に訓練を体験させて、災害に対する意識を持たせたほうが良い。

5 意見・要望

- ・ 大規模災害に備えて、日頃から効果的な情報が得やすい広報活動を実施してほしい。
- ・ 災害時に円滑な警察業務ができるように、警察に必要な装備資器材を整備してほしい。

6 その他

- (1) 会議の際に、水没車両からの脱出を想定したガラス割り体験を行った。
- (2) 次回開催日程は、令和7年11月下旬を予定している。